

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心できる場所、楽しみながら活動ができる	活動内容を工夫し利用者の特性や行動を分析しスタッフで統一した支援を心がけています	安全を常に心がけ、安心して過ごせる場所の提供を維持します
2	利用児童の変化に注意し、職員間で連携をとれている。	朝の打ち合わせや送迎後に些細な事でも変化を感じたら共有するようにしている	職員が偏った考え方、思い込みにならないよう常に注意し今後も職員間の連帯を維持する
3	社会性を学ぶ場所や施設が多いため、学校休業日には外出する機会も多い	ソーシャルスキルトレーニングの実地	多くの経験が出来るよう、買い物学習、外食、工場見学など多くの場面を作り、社会性を学んでいく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士や兄弟との交流	保護者のニーズを把握し、交流の機会を増やしていく	ペアレントトレーニングや催しごとを企画し行事の開催をする
2	地域との交流	児童館や公園では他の児童と一緒に遊ぶことはあるが、地域の方との交流の場がない	安全性を確保しつつ、必要であれば地域の方に行事の際に声をかけたり開かれた事業所にする。
3	避難訓練を行っているが、周知が足りていない	避難訓練の状況は月間スケジュールや連絡帳により周知しているが、そこまで行き届いていない	利用日に限らず、周知を行いプライバシーの配慮もあり課題ではあるが、活動の様子がわかるものを別途作成するなど周知方法を検討する